

【目次】

1. 友愛会創立を記念する会 2016年第1回幹事会を開く、2月16日！
2. 塚本三郎元民社党委員長を招き政治・社会運動史研究会を開く、1月29日！
3. 慶応義塾大学・産業研究所から「藤林文庫」の寄贈を受ける、1月28日！
4. 民主社会主義者・サンダース議員に注目、民主社会主義文献は友愛労働歴史館に！

1. 友愛会創立を記念する会 2016年第1回幹事会を開く、2月16日！



友愛会創立を記念する会（服部光朗会長）は2月16日午後、友愛労働歴史館・研修室において2016年第1回幹事会を開催しました。幹事会の進行を寺門勉事務局長（日産労連）が務め、最初に小出幸男副会長（日本労働会館理事長）から挨拶を受けた後、報告事項に入り、2015年度103周年記念事業について確認しました。

続いて相談事項に入り、最初に2015・2016年役員を確認しました。ここでは辞意を表明していた服部光朗会長に代わり、次期会長に高木剛氏（全労済協会理事長、元連合会長）を選出しました。この後、8月1日（月）に開催する友愛会創立104周年記念事業（友愛会を顕彰する報告会、記念パーティー）について論議し、その内容や財政見通しを了承しました。

なお、記念パーティー（2016.08.01 12:00～、友愛会館9階大会議室）に先立つ「友愛会を顕彰する報告会」は、下記の要領で開催することが確認されました。

友愛会を顕彰する報告会（講演会）

と き：2016年8月1日（月）11:00～11:50 ところ：友愛労働歴史館・研修室
テーマ：「友愛会を支えた人々—吉野作造、新渡戸稲造ら」 講 師：芳賀清明氏 労働運動史研究者

2. 塚本三郎元民社党委員長を招き第6回政治・社会運動史研究会を開く、1月29日！



友愛労働歴史館は1月29日（金）午前、第6回政治・社会運動史研究会を開催しました。同研究会は、友愛労働歴史館の調査・研究活動の一環として設置したもので、「日本の民主的社会主義政党、並びにそれと関連する社会運動史の調査・研究」を目的としています。

第6回研究会は元民社党委員長・塚本三郎氏を報告者に同日10:15～11:45、衆議院第二議員会館・川端達夫事務所において、共通テーマ「民社党時代を語る」で開催されました。研究会は原則、非公開ですが、友愛労働歴史館や旧民社党の関係者らが参加しました。研究会では司会者から①公明党との関係、②社会党右派との連携、③自民党との関係などの提起を行い、これに基づき塚本三郎氏が1時間余に亘って報告し、その後、意見交換を行いました。

塚本三郎氏は1927年名古屋市生まれで、中央大学法学部卒。1958年に衆議院議員に初当選し、以降10回当選。民社党書記長、委員長を歴任し、1997年に勲一等旭日大授賞を受賞しています。著書に『内政干渉！』（人間の科学社）、『日本には日本の生き方がある』（中央公論新社）などがあります。

3. 慶応義塾大学・産業研究所から「藤林文庫」の寄贈を受ける、1月28日！



友愛労働歴史館は1月28日、慶応義塾大学・産業研究所からリユース資料として「藤林文庫」（藤林敬三氏。元慶応義塾大学教授、元中労委委員長）の二度目の資料の寄贈を受けました。主な受け取り資料は、「藤林文庫」の協調会（戦前）や中央労働学園（戦後）に関する書籍です。2月26日には海員組合関連資料の寄贈を受ける予定で現在、調整中です。

友愛労働歴史館は折々にホームページ HP <http://www.yuairodorekishikan.com> の更新を行っています。直近の友愛労働歴史館ニュース「お知らせ」は、2月8日「民主社会主義者・サンダース上院議員に注目」、2月4日・「河合栄治郎生誕125周年記念大会、2月15日」でした。

4. 民主社会主義者・サンダース上院議員に注目、民主社会主義文献は友愛労働歴史館に！



米大統領選の本格的な幕開けとなる民主党、共和党の候補者選びが2月1日、アイオワ州党員集会で始まりました。詳細は略しますが、ここでは民主党の本命ヒラリー・クリントン氏に肉薄した、「民主社会主義者」のバーニー・サンダース上院議員に注目です。サンダース氏はアメリカ・バーモント州選出の上院議員で、ウィキペディアには「ユダヤ系ポーランド人移民の息子でニューヨーク州生まれ・・・2007年以来、上院議員を務めている。また、下院議員を通算8期・16年、バーモント州バーリントン市長を務める」などと記述されています。

注目は社会主義に拒絶反応を示す市民が多いアメリカで、「民主社会主義者」のサンダース氏が、何度も当選を重ねてきたことです。背景に米国が抱える過酷なまでの不平等、格差があります。今後の米大統領選とサンダース上院議員の行方が気になりますが、当館的には「民主社会主義」に注目です。

いまの日本ではほぼ死語になった感のある「民主社会主義」ですが、かつては日本でも民主社会主義を謳う政党（1960年に結党された民主社会党、後に民社党と改称。現在は民主党に合流）があり、フランクフルト宣言や民社党綱領に共感を示す民主社会主義者がいました。

彼らは自由放任の資本主義経済メカニズムがもたらす失業、貧困、格差、不平等といった非人間性に反抗し、一方で個人の自由を圧殺する共産主義・全体主義の非人間性にも抵抗して、独自の主張・行動を積み重ねていました。しかし、いま日本に民社党はなく、民主社会主義者を自称する人々は少なくなり、民主社会主義に関する資料・文献を目にする機会は少なくなっています。

ただ、友愛労働歴史館には民社党や民主社会主義研究会議（現・政策研究フォーラム）などから寄贈された民主社会主義関連文献が、数多く所蔵されています。関心のある方は、友愛労働歴史館で閲覧ください。また、民主社会主義関連資料をお持ちの方は、当歴史館への寄贈をご検討ください。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

唯一館から121年、友愛会から103年